

笠野 眞喜議員



立野ダム周辺の振興策は？ 現在調整を図っている

笠野議員

①ダム、リムトンネルの利活用策は、現時点でどうなっているか。

村長

①現在リムトンネルは、カギつき保管庫にて、南阿蘇の赤ワイン（レッドカウ）を試験保管を行っている。リムトンネルの利活用については、利用協定等を結んで活用できるよう進める。



笠野議員

②建設中施設の運用計画について詳しい説明を。

村長

②現在建設中の多目的記念館は2月中の完成を予定し整備を行っている。管理運営については、隣接する広場の工事が完了するまでは、村管理として運用する。活用計画は、デジタルサイネージ、電子看板を活用した観光案内、防災情報を提供していく。



笠野議員

③その後、長陽憩いの家はどうされているか。

村長

③長陽憩いの家は、令和6年3月までは、立野区の公民館として4年間利用されてきた。現在は水道が漏水しており、漏水カ所が特定できなく休館している。施設の方向性はまだ定まっていない。今後協議をしていく。

笠野議員

④鮎返りの滝付近で散策路の本架設の整備と足湯

整備がされているが、村として駐車場の整備などの計画はあるのか？

村長

④熊本地震後に、鮎返りの滝への白川、川床への通路は、一部崩落カ所や不安定な岩があることから通路入口は鍵付き門扉で管理され、通常は誰でも進入できない。足湯の活用については管理通路の運用に準じた取り扱いになる。引き続き熊本河川国道事務所と観光客の足湯活用の協議を行う。用地が小山旅館の私有地となっており、駐車場の整備計画は現在はない。

笠野議員

⑤かわまちづくりで整備される戸下の管理道路で、提案した植栽はされるのか？

村長

⑤今月かわまちづくり検討部会において、長陽大橋の下まで現地の様子を確認に行く計画あり、植栽の提案も部会委員の皆様とそこで共有をし、協議を行っていく。植栽後はしばらくは下草刈りなど、管理が不可欠となり、継続的な管理が可能か、かわまちづくり検討部会や熊本河川国道事務所と協議を行っていく。



笠野議員

⑥あそ立野ダム地域整備計画の残工事は、今後どうされるのか？

村長

⑥多目的記念館の隣に来年度、スポーツ広場の整備工事を計画している。子どもが遊べるような遊具の設置、規模は西原村の総合体育館の横に設置してある程度。地域内の人たちが交流できる場所にしたい。残工事は現在調整を行っている。

